

国立法人東京農工大学大学院生物システム応用科学府教育規則の一部改正

国立法人東京農工大学大学院生物システム応用科学府教育規則を次のとおり改正する。

現行	改正	備考
<p>本則</p> <p>(他の学府等の単位の修得)</p> <p>第6条 学則第76条の規定により他の大学院において修得した単位がある場合は、博士前期課程及び博士後期課程を通して10単位を限度として、第3条第2項又は第4条第2項に規定する選択科目の単位数に算入することができる。</p> <p>2 (略)</p> <p>(新設)</p> <p>(新設)</p> <p>(学位論文の審査方法)</p> <p>第11条 学位論文の審査方法等については、学位規程に定めるもののほか、その実施に関し必要な細目は、別に定める。</p> <p>(雑則)</p> <p>第12条 (略)</p>	<p>本則</p> <p>(他の学府等の単位の修得)</p> <p>第6条 学則第76条及び第76条の2(それぞれ第3項を除く。)の規定により他の大学院において修得した単位がある場合は、博士前期課程及び博士後期課程を通して10単位を限度として、第3条第2項又は第4条第2項に規定する選択科目の単位数に算入することができる。</p> <p>2 (略)</p> <p>3 <u>学則第79条第1項の規定により、入学前の既修得単位の認定を受けようとする者は、入学時に学府長に願い出なければならない。</u></p> <p>(博士論文研究基礎力審査)</p> <p>第11条 <u>前条第1項の規定にかかわらず、博士前期課程の学生であって学則第71条の2に規定する博士課程教育リーディングプログラムを履修する者は、学府が博士課程の目的を達成するために必要と認める場合、学則第73条第3項各号に規定する試験及び審査を受けることにより修士の学位論文の提出及び最終試験の受験に代えることができる。</u></p> <p>2 <u>前項に該当する学生は、Application for the Qualifying Examinationに Paper Examination等を添え、指導教員を経て学府長に提出しなければならない。</u></p> <p>3 <u>前項により提出する書類の様式等及び提出時期等については、別に定める。</u></p> <p>4 <u>学府長は、学生から第2項の書類の提出を受けた場合、その写しを博士課程教育リーディングプログラム責任者へ提出するものとする。</u></p> <p>(学位論文等の審査方法)</p> <p>第12条 学位論文及び博士論文研究基礎力審査の審査方法等については、学位規程に定めるもののほか、その実施に関し必要な細目は、別に定める。</p> <p>(雑則)</p> <p>第13条 (略)</p>	

別表第1(第3条関係)

[博士前期課程]

生物システム応用科学専攻

科目区分	授業科目	単位数	
学際交流科目	生物システム応用科学研究概論	◎2	
融合基礎科目	基礎技術演習 I	◎1	
	基礎技術演習 II	◎1	
分野交流科目	実践発表 I	◎1	
	実践発表 II	1	
起業科目	アントレプレナー特論 I	▲1	
	アントレプレナー特論 II	▲1	
	アントレプレナー特論 III	▲1	
物質機能システムコース	専門分野科目	物質機能設計特論 I	2
		物質機能設計特論 II	2
		物質機能応用特論 I	2
		物質機能応用特論 II	2
		物質エネルギーシステム特論 I	2
		物質エネルギーシステム特論 II	2
		超分子機能システム特論 I	2
		超分子機能システム特論 II	2
	アドバンスド教育科目	物質機能システム学アドバンスド I	△1
		物質機能システム学アドバンスド II	△1
物質機能システム学アドバンスド III		△1	
物質機能システム学アドバンスド IV		1	
物質機能システム学アドバンスド V		1	
物質機能システム学アドバンスド VI		1	
物質機能システム学アドバンスド VII		1	
物質機能システム学アドバンスド VIII		1	
論文研究等	物質機能システム学セミナー	○4	
	物質機能システム学特別実験	○2	
	物質機能システム学特別研究	○4	

別表第1(第3条関係)

[博士前期課程]

生物システム応用科学専攻

科目区分	授業科目	単位数	
学際交流科目	生物システム応用科学研究概論	◎2	
融合基礎科目	基礎技術演習 I	◎1	
	基礎技術演習 II	◎1	
分野交流科目	実践発表 I	◎1	
	実践発表 II	1	
起業科目	アントレプレナー特論 I	▲1	
	アントレプレナー特論 II	▲1	
	アントレプレナー特論 III	▲1	
専門交流科目	アドバンスト I	△1	
	アドバンスト II	△1	
	アドバンスト III	△1	
	アドバンスト IV	1	
	アドバンスト V	1	
	アドバンスト VI	1	
	アドバンスト VII	1	
	アドバンスト VIII	1	
物質機能システムコース	専門分野科目	物質機能設計特論 I	2
		物質機能設計特論 II	2
		物質機能応用特論 I	2
		物質機能応用特論 II	2
		物質エネルギーシステム特論 I	2
		物質エネルギーシステム特論 II	2
		超分子機能システム特論 I	2
		超分子機能システム特論 II	2
	論文研究	物質機能システム学セミナー	○4

生体機能情報システムコース	専門分野科目	生体情報反応システム特論 I	2	生体機能情報システムコース	等	物質機能システム学特別実験	○2		
		生体情報反応システム特論 II	2			物質機能システム学特別研究	○4		
		神経機能情報ネットワーク特論 I	2		専門分野科目	生体情報反応システム特論 I	2		
		神経機能情報ネットワーク特論 II	2			生体情報反応システム特論 II	2		
		生体モデル知覚システム特論 I	2			神経機能情報ネットワーク特論 I	2		
		生体モデル知覚システム特論 II	2			神経機能情報ネットワーク特論 II	2		
		生体機能運動システム特論 I	2			生体モデル知覚システム特論 I	2		
		生体機能運動システム特論 II	2			生体モデル知覚システム特論 II	2		
	生体機能情報システム学アドバンスド I	△1	生体機能運動システム特論 I			2			
	生体機能情報システム学アドバンスド II	△1	生体機能運動システム特論 II			2			
	アドバンスド教育科目	生体機能情報システム学アドバンスド III	△1		論文研究等	生体機構情報システム学セミナー	○4		
		生体機能情報システム学アドバンスド IV	1			生体機構情報システム学特別実験	○2		
		生体機能情報システム学アドバンスド V	1			生体機構情報システム学特別研究	○4		
		生体機能情報システム学アドバンスド VI	1			専門分野科目	生態系型生産システム特論 I	2	
		生体機能情報システム学アドバンスド VII	1				生態系型生産システム特論 II	2	
		生体機能情報システム学アドバンスド VIII	1				生物相関システム特論 I	2	
		論文研究等	生体機構情報システム学セミナー				○4	生物相関システム特論 II	2
			生体機構情報システム学特別実験				○2	資源循環利用システム特論 I	2
	生体機構情報システム学特別研究		○4		資源循環利用システム特論 II		2		
	循環生産システムコース	専門分野科目	生態系型生産システム特論 I		2		論文研究等	生物・環境計測システム特論 I	2
生態系型生産システム特論 II			2	生物・環境計測システム特論 II	2				
生物相関システム特論 I			2	循環生産システム学セミナー	○4				
生物相関システム特論 II			2	循環生産システム学特別実験	○2				
資源循環利用システム特論 I			2	循環生産システム学特別研究	○4				
資源循環利用システム特論 II			2	アドバンスド教育科目	循環生産システム学アドバンスド I	△1			
生物・環境計測システム特論 I			2		循環生産システム学アドバンスド II	△1			
生物・環境計測システム特論 II			2		循環生産システム学アドバンスド III	△1			
循環生産システム学アドバンスド IV		1							

		循環生産システム学アドバンスドV	1
		循環生産システム学アドバンスドVI	1
		循環生産システム学アドバンスドVII	1
		循環生産システム学アドバンスドVIII	1
	論文研究等	循環生産システム学セミナー	○4
		循環生産システム学特別実験	○2
		循環生産システム学特別研究	○4

備考

1・2 (略)

(新設)

3 (略)

4 アドバンスド教育科目については、選択必修とし、それぞれ所属するコースの△印の授業科目から2単位以上を修得すること。また、△印の授業科目以外のアドバンスド科目については、年度によって開講しない場合がある。

5 (略)

別表第2(第4条関係)

[博士後期課程]

(表は省略)

共同先進健康科学専攻

	授業科目	単位数(東京農工大学開講)	単位数(早稲田大学開講)	単位数(共通)
専攻基軸科目	化学物質総合管理学		○2	
	生活環境総合管理学		○2	
	食農総合管理学		○2	
	感染症総合管理学		○2	
	研究倫理		2	
	イノベーションリーダーシ		2	

備考

1・2 (略)

3 専門交流科目については、選択必修とし、△印の授業科目から2単位以上を修得すること。また、△印の授業科目以外のアドバンスド科目については、年度によって開講しない場合がある。

4 (略)

(削る)

5 (略)

別表第2(第4条関係)

[博士後期課程]

(表は省略)

共同先進健康科学専攻

	授業科目	単位数(東京農工大学開講)	単位数(早稲田大学開講)	単位数(共通)
専攻基軸科目	化学物質総合管理学		○2	
	生活環境総合管理学		○2	
	食農総合管理学		○2	
	感染症総合管理学		○2	
	研究倫理		2	
	イノベーションリーダーシ		2	

		ップ			
実践英語教育科目		Professional Communication		1	
		Advanced Technical Reading and Writing		1	
		Advanced Technical Presentation		1	
		Workplace English		1	
専門科目	生命科学	獣医学概論	○2		
		実験動物学特論	○2		
		疾患モデル学特論	○2		
		分子病態制御学特論	○2		
		分子再生医学特論	○2		
		知覚運動制御特論	○2		
		先進がん治療特論	2		
		分子腫瘍学特論		2	
		脳・こころの健康医療科学特論		<u>2</u>	
		健康免疫学特論		<u>○2</u>	
	環境科学	環境バイオ分析化学特論	○2		
		環境微生物学特論	2		
		環境ゲノム情報解析特論	2		
		植物環境工学特論	2		
		環境生物資源特論		○2	
		環境生理学特論		○2	
	食科学	生活習慣病予防学特論	○2		
		生体分子反応特論	2		
		実践生物統計学	○2		
時間栄養・薬理学特論			○2		
演習科目		先進健康科学計画研究			◎4
		先進健康科学セミナーI			◎4
		先進健康科学セミナーII			◎4

		ップ			
実践英語教育科目		Professional Communication		1	
		Advanced Technical Reading and Writing		1	
		Advanced Technical Presentation		1	
		Workplace English		1	
専門科目	生命科学	獣医学概論	○2		
		実験動物学特論	○2		
		疾患モデル学特論	○2		
		分子病態制御学特論	○2		
		分子再生医学特論	○2		
		知覚運動制御特論	○2		
		先進がん治療特論	2		
		分子腫瘍学特論		2	
		脳・こころの健康医療科学特論		<u>○2</u>	
		環境科学	環境バイオ分析化学特論	○2	
	環境微生物学特論		2		
	環境ゲノム情報解析特論		2		
	植物環境工学特論		2		
	環境生物資源特論			○2	
	環境生理学特論			○2	
	食科学	生活習慣病予防学特論	○2		
		生体分子反応特論	2		
		実践生物統計学	○2		
		時間栄養・薬理学特論		○2	
演習科目		先進健康科学計画研究			◎4
		先進健康科学セミナーI			◎4
		先進健康科学セミナーII			◎4
		先進健康科学セミナーIII			4

